



クリスマスピアノコンサートで演奏する
ピアニストの森知英さん(S63年卒)

クリスマスピアノコンサートで演奏する
ピアニストの森知英さん(S63年卒)
作品や演奏の
に開催します。
ティールを同時
家を囲むパー
家を開くパ
でなく、芸術
鑑賞するだけ
鑑賞するだけ
すが、「ル・サ
サロン・ブラ
ン」は作品を
鑑賞するだけ
でなく、芸術
鑑賞するだけ
すが、「ル・サ
サロン・ブラ
ン」は作品を

在京白聖会には、画家や書家、
彫刻家、音楽家、文学や演劇な
どの分野で活躍しておられる会
員がたくさんいらっしゃいます。
「芸術鑑賞クラブ Le Salon
Blanc (ル・サロン・ブラン)

は、様々な分野の芸術家と一緒
に芸術に親しむクラブとして設
立されました。「ル・サロン・
ブラン」とは、フランス語で
「白聖」という意味です。
芸術は、ふつうは個人とか数
人のグループ
で鑑賞するこ
とが多いので
すが、「ル・サ
ロン・ブラ
ン」は作品を
鑑賞するだけ
でなく、芸術
鑑賞するだけ
すが、「ル・サ
ロン・ブラ
ン」は作品を

Le Salon Blanc

12月12日(火)クリスマスピアノコンサート開催 「在京白聖会芸術鑑賞クラブ Le Salon Blanc」発足

在京白聖会に、4番目のクラブが誕生しました。「芸術
鑑賞クラブ Le Salon Blanc (ル・サロン・ブラン)」です。
同クラブは、芸術家を囲み一緒に芸術に親しもうという
もの。スタートは森知英さんのピアノコンサートです。
では、クリスマスコンサート会場でお会いしましょう。

在京白聖会報

第21号

平成18年10月15日

発行

在京白聖会

〈事務局〉

〒105-0003 東京都港区

西新橋1-17-11

リバティ11ビル 8F

玉澤健児税理士事務所 内

TEL&FAX.03-3501-1391(直通)

<http://www.hakua.soikei.co.jp/index.htm>

在京白聖会芸術鑑賞クラブ主催 第1回イベント

クリスマスピアノコンサート ～デュオの響き～

- 日時 2006年12月12日(火)
コンサート 18:00～19:00
パーティー 19:00～20:30
- 会場 「カワイ表参道」2階 コンサートサロン『パウゼ』
(地下鉄銀座線「表参道駅」A1出口すぐ)
渋谷区神宮前5-1 TEL.03-3409-2511
- 演奏 森 知英 (S63年卒) ピアニスト コンサート企画
松岡 淳 (H元年卒) ピアニスト

- プログラム 渡辺智子 (国立音楽大学大学院在学中。S48卒 渡辺寛氏子女)
モーツァルト：2台のピアノのためのソナタK.448 より
サン・サーンス：動物の謝肉祭 (2台ピアノ版) より
チャイコフスキー：バレエ「くるみ割り人形組曲 (2台ピアノ版)」より

- 会費 1万円 ●定員 80名
- 申込み 電話、FAX、電子メール、はがきにより事務局宛お申し込み下さい。

〈在京白聖会事務局〉

〒105-0003 港区西新橋1-17-11 リバティ11ビル

TEL/FAX03-3501-1391

E-mail: rtdcpt_ohsawa@yahoo.co.jp

※会費は「在京白聖会事務局」口座 (三菱東京UFJ 新橋支店 普通 5007653)
宛てお振り込み下さい。折り返し参加チケットをお送りいたします。

- 締切り 11月20日 (ただし定員になり次第先着順締め切ります)

鑑賞ばかりでなく、芸術家本人
も参加し一緒に交歓すること
で、芸術により親しんでいた
こうというのが、会の主旨です。

「ル・サロン・ブラン」の活
動は、昭和63年卒の在京白聖
会員でピアニストの森知英さ
んのピアノコンサートの企画
でスタートしますが、今後は
年1～2回、作品展や観劇会
などを企画してまいります。
企画したイベントは、その
都度、会報や在京白聖会ホー
ムページでご案内いたします
ので、ご期待下さい。
なお、「ル・サロン・ブラン」
のイベントは、会員ご家族の
参加もOKですから、この機
会にご家族お誘い合わせての
ご来場をお待ちしています。

お願い

会費未納の方は、同封の振
替用紙で会費二、〇〇〇円
をお振込み願います。

渡辺智子 (ピアノ・父の寛氏がS48年卒)
国立音楽大学附属高校、同大学ピ
アノ専攻卒。現在、同大学院2年に在学
中。2003年ウィーン夏季音楽セ
ミナーでアレクサンダー・ザツツ氏
のマスタークラスを受講、ディプロマ
取得。ピアノを森知英氏に師事。

松岡 淳 (ピアノ・H元年卒)
東京藝術大学
大学院修士課程
修了。1993
年マリア・カナ
ルス国際音楽コ
ンクール名譽ディプロマ、第1回ス
ーパー・クラシック・オーデション
第1位等国内外において受賞多数。
1999年には邦人として初めて、
ブラームス国際音楽コンクール、ピ
アノ部門に於いて第1位。2003
年春には、キエフで行われた《現代
音楽祭》に招聘され、《キエフ・ソ
ロイスツ》との共演を始めソロ、室
内楽の演奏会を開催、絶賛を博した。
現在、東京藝術大学、昭和音楽大学
及び同短大非常勤講師。



森 知英 (ピアノ・S63年卒)

東京藝術大学大学院修士課程修了。
盛岡一高2年在学中、第55回日本音
楽コンクールに入選。1995年、
第13回シヨパン国際ピアノコンク
ールに日本代表として派遣され、ディ
プロマを得る。近年では、1999年か
ら2004年にかけて行われた「ベ
ートベンピアノソナタ全32曲演奏会」
(全9回)が話題となり、高い評価を
得た。吉田見知子氏に師事。

出演者プロフィール



S49年卒のシンガーソングライター及び音楽プロデューサー、高橋研さんのミニコンサート風景。「翼の折れたエンジェル」ほか数曲を熱唱した



←在京白聖会を支えているいつものメンバー



来年も5月13日創立記念日の開催です。皆さん、また来年も盛り上がりましょう！

次年度幹事50年卒の皆さんの挨拶で幕を閉じました。

今年も5月13日創立記念日の開催です。皆さん、また来年も盛り上がりましょう！

地震予知最前線研究者の講演 郷土の酒の「利き酒」と試飲 昭和43年甲子園出場時の映像放映 アトラクションは高橋研氏のミニライブ 06年総会、盛大に開催！

5月13日(土)

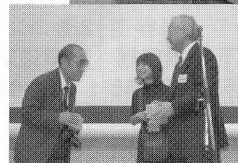
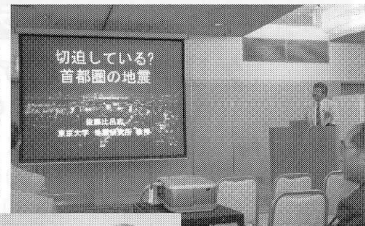
アルカディア市ヶ谷に263名が集う

事務局からのサークル活動等の報告など総会が滞りなく終了したあと、懇親パーティーでは舌自慢の40人ほどが利き酒に挑戦。残念ながら全問正解者はありませんでしたが、優秀者4名に及川昭伍顧問の作陶によるぐい飲みが贈られました。またその間、岩手の銘酒と地ビールの試飲会も開催されました。

平成18年度在京白聖会総会が5月13日(土)、アルカディア市ヶ谷で開催され、あいにくの雨にも関わらず総勢263名が集合、大盛会となりました。

東京大学地震研究所佐藤比呂志教授の講演会では、首都圏のプレートや地震予知の話に、参加者全員真剣な表情で聞き入りました。

→東大地震研・佐藤比呂志教授の講演



←「利き酒」では村野井徹夫さん(S35年卒/写真左)ら及び川昭伍顧問作陶のぐい飲みをゲット

アトラクションのミニライブでは、高橋研氏が自作の名曲「翼の折れたエンジェル」「メリーアン」を熱唱。アンコール「懐かしの4号線」で、会場の熱気は最高潮に達しました。

続いて昭和43年の甲子園の映像が映し出され、当時の野球部員による解説も飛び出し、全員が懐かしさに浸るうちに袴姿の49年応援団が登場。現役さながらのリードによる校歌、応援歌の蛮唱、エールで会場の興奮は再びクライマックスへ。最後に



小田中聡樹東北大名誉教授



44名の白聖女子会員が出席。次回開催から会報で開催のご案内をします

会は、懇談の後29年卒の東北大学名誉教授小田中聡樹氏が「私たちが生きてきた時代、そして今」という題で講演。高校生当時の音楽会や映画、新聞、クラブの雑誌などの懐かしい資料をお持ちいただき、楽しい時間を過ごしました。

今年も7月2日(日)、「グランドヒル市ヶ谷」で第2回在京白聖会女子の会が開催されました。幹事はS29年卒女子で、44名の方が出席しました。

また、今開催で以下のことが決まりました。

＊会の名称を「在京白聖レディス会」とする。

＊開催幹事は70歳になった年次生が担当する。

＊会の代表はそのときの在京白聖会の女子の副会長とする。

第2回

「在京白聖レディス会」 レポート

7月2日(日)
「グランドヒル市ヶ谷」で開催

●
会の名称を
「在京白聖レディス会」に決定

昭和20年卒年次呼称の変更について

萬 藤五郎 (昭和20年卒)

これまで昭和20年卒は5力年で卒業の年次をA、4力年で卒業の年次をBと呼んでいましたが、その呼称が昨年末から5力年で卒業した年次を「昭和20年次」、4力年で卒業した年次を「昭和20年次4年卒」と変更されました。その背景と経緯を萬藤五郎先輩にご投稿いただきました。

去る4月21日、在京白聖会幹

事会が東郷神社社務所に於いて開催され、第37年度の在京白聖会総会についての議案が審議された。その席に於いて、議案書の一部、卒業生年次の欄に、昭和20年卒A、昭和20年卒B、と記されており、この年次の呼称が今年より変更され、A、Bが削除されたことを思い出し、白聖会報の編集委員に告げた。

編集委員はわれわれ当事者と違い初めて聞けらしく、逆に、この事について、経緯、経過を在京白聖会紙に投稿してくれないかと依頼された。

私は昨年盛岡で白聖60会の総会に出席した際、この問題は白聖60会の大事な問題であり2005年中に解決すべくそれぞれの意見を集約中である、とのことであった。そのことと、我々中学校時代の生活を年次の若い方々に知って貰いたいとの思いもあり承知した。

昨年の暮れ配布された白聖通信NO.25、2005年12月21日付の最後のページの欄に、事務局から「呼称変更のお知らせ」として次のことが掲載されていたのでここに転記させていただきます。

「これまで昭和二十年卒は五力年で卒業の年次をA、四力年で卒業の年次をBと呼んでおりましたが、それぞれの年次や年次代表者会議での話し合いの結果、次のように呼び名を変更いたしました。五力年で卒業した年次→昭和二十年次 四力年で卒業した年次→昭和二十年次四年卒」

以上ですが、たった、これだけのことに長い年月を掛けたのでしうか。それぞれの年次や年次代表者会議での話し合いの結果と記されています。詳しくは、昨年11月1日に発行された『われら四年卒』《白聖六十期四年卒生編》の冒頭に記載されています（これには、その当時の学徒動員生活の様子が詳しく記されています）。

概略を説明しますと、61年前に遡ります。太平洋戦争で日本が負けた年、1945年（昭和20年）、戦時特令で昭和15年入学の5年生と、昭和16年入学の4年生と一緒に卒業させられました。その前の年には大学生や専門学校生が半年繰り上げ卒業で9月に卒業させられ、戦場

へと赴いた厳しい年でした。盛岡中学をはじめ、全国一斉に昭和3年生までの4年卒業生が誕生したのでした。

我々盛岡中学報国隊は昭和20年3月29日、5年生と4年生と一緒に動員先の平塚工場・雨天体育場で空襲警報を心配しながら卒業式を挙げたのでした。

広島原爆。8月15日終戦。世は民主主義の時代となり名簿の卒業年次をどのように記載すべきかと言うこととなりました。

当初より、前記のようにすればよかった訳ですが、いろいろな理由で留年せざるを得なかった方々の強い意見がでてまもなく、世は英語万能時代、5年卒はA、4年卒はB、と言うことに収まったものと思われまふ。

しかしながら、4年卒のB組は心のどこかに、文字からくる差別感あるいは劣等感のようなものが鬱積し、コンプレックス現象を起こし、Bと記入するのに一瞬とまどいを感じるに至りました。正しく心の問題ですね。そのうち60周年を迎え、なんと

としても解決したいと思う組と、年老いて、細かい事は忘れた組も、共に卒業60周年記念をお祝いしましょう、と、合意したものだと思われまふ。

以上

※『われら四年卒』（発行所 盛岡タイムス社）FAX 019-622-5119 TEL 019-653-3111



萬 藤五郎氏

萬先輩は、「20年卒B」の年次内では「20年次4年卒」という呼称より「60期4年卒」のほうがすっきりしていてよいという声も多かったと伝えています



あなたは、何枚持っていますか。

八重畑達男先輩（S18年卒／左の写真右から3人目）から、事務局に白聖の記念手拭いをご寄贈いただきました。故・福田隆先生デザインのものが多いですね。さて、あなたはこの内、何枚持っていますか？

在京白聖会ゴルフクラブ

第4回在京白聖会ゴルフ大会

11月17日(金)開催 参加者募集

第4回目を迎えた在京白聖会ゴルフ大会。回を重ねるごとに盛会になっています。個人参加、年次でのチーム参加いずれも大歓迎です。東京駅から送迎バスも出ます。

開催要領

- 期日 平成18年11月17日(金)
- 会場 ザ・ゴルフクラブ竜ヶ崎
茨城県竜ヶ崎市泉町原口
1592-77 TEL.0297-64-0110
- スタート OUT・IN共
9・15から各6組
- 集合時間 8・30 (厳守)
- 募集定員 48名
- 会費 5千円
(パーティー費、賞状代ほか)



昨年スタート前風景

●プレー費

プレー費(概算4,000円)・十食代等は各自ご精算下さい。

●送迎バス

東京駅1会場間の往復送迎バスを用意してあります。

●申込み

東京駅7・00発(有料2千円)但し、卒業年次単位1チーム4名の一括申込みを歓迎。

●申込方法

①氏名 ②連絡先住所 ③電話番号 ④卒業年次

●申込締切

平成18年10月27日(金)※但し、先着順。定員達し次第締め切り。

●プレー

18ホールズストロークプレー。ハンディはダブルペリア方式で算出。同ネットは卒業年次上位。

●対抗戦

卒業年次別対抗戦を行います。

●1チーム4名の上位3名の合計スコアで順位決定。

●表彰 年次対抗戦団体優勝、個人戦優勝はか賞状多数。

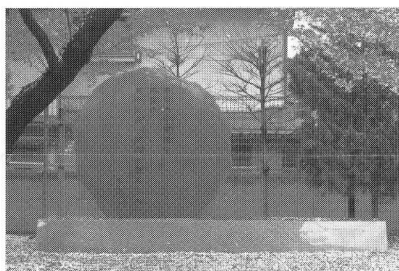
●実施要領 参加者には後日詳細な実施要領を送付します。

●申込先 在京白聖会事務局
105-0003 東京都港区西新橋
1-17-11、玉澤健児税理士事務所内、TEL/FAX03-3501-1391 (直通)

在京白聖会、吟行歌会を行う



「白聖五行歌会」は8月26日(土)、南部藩ゆかりの有栖川宮記念公園で吟行歌会を行い、即詠に挑戦しました。毎月第2金曜日の定期歌会は、06年10月から会場が秋葉原の和泉橋区民集会所(千代田区神田佐久間町1-11)に変わりました



昭和43年卒同窓生有志が発起人となり、啄木生誕120年の年に母校に初めて建立された啄木歌碑。赤御影石に啄木の「バルコン」の歌が刻まれ、台座の姫神石には英訳も刻まれている

啄木歌碑除幕式、5月7日に行われる

本紙20号でお伝えした通り、本年5月7日、母校に啄木歌碑が建立されました。場所は、正門を入って右手の正面玄関前。除幕式では、谷藤裕明盛岡市長(S45卒)、鈴木文雄校長(S43卒)、谷藤文明・43年卒代表幹事らが祝辞を述べ、その後、教室に場所を移し、遊座昭吾先生の記念講演が行われた。

白聖五行歌会参加者随時募集中

昨年11月に発足した白聖五行歌会は、毎月第2金曜日午後6時30分から秋葉原で歌会を行っています。参加希望の方は03-3269-3420(42年卒・白聖五行歌会代表)までお気軽にご連絡を。メールは sakuraco@leaf.ocn.ne.jp

風のメロディ

雑踏のハーモニー

はくの鼓動のリズム

新しい詩が

生まれる瞬間

髭 流 (50年卒)

若い頃

ハンサムと言われたが

今では

誰も何とも言わない

味のある顔

伊奈 裕 (38年卒)

戯れの検索に

今の名前がヒットし

懸賞魔にしている

幸せそうな貴方に

思いを馳せる

颯 斗 (43年卒)

青空を仰ぐ

コスモスの

赤やピンクは

遠い故郷を思っ

風情で揺れ

山田武秋 (42年卒)

※06年4月～9月までの作品から抜粋。作者名はペンネームもあります。

編集後記



写真上は講演中の遊座先生。写真右は歌碑を囲んで記念撮影する43年の皆さん。遊座先生のこの日の講演「盛岡の中学校の露臺の——」は国際啄木学会盛岡支部会報第15号に掲載されている



在京白聖会のクラブ活動が、また増えた。地域のサークルなどで活動している方も多いと思うが、白聖会は気心の知れた仲間。生涯のいきがいとして、長く楽しむことができるでしょう。新しいクラブの発足、大歓迎。遠慮なく手を挙げて下さい。